

今年度の研究について

研修部 校内研修

1. 今年度の研究

昨年度に引き続き『道徳科』を研究する。

校内研修の中で学力向上についても取り組む。

2. 研究主題と副主題

豊かな心をもち、よりよく生きる大島っ子の育成

～自己を見つめ、考え、深め合う「道徳科」をめざして～

3. 研究の柱（視点）

○多様な指導方法の工夫と評価の実践

教師側：多様な指導方法にチャレンジする。→教師サイドの腕を磨く。

児童側：本音を語り、自分事として考える中で、自己を見つめる、見つめ直す→よりよく生きようとする基盤

○『大島小道徳科カリキュラム』の作成

大島小月別重点内容項目と照らし合わせる

4. 研修方法

今年度はまず、『大島小道徳科カリキュラム』を5月中までに作成する。

その後、6月～10月までを研究の前期、11月～3月までを研究の後期と設定し、実践・活動を進めていく。

組織としては、今年度は専門部を作らず、2つのチーム（A・B）に分かれて、前後期に1本の授業とその間の児童玄関掲示物をチームで協力してつくりあげる。

前後期末に振り返りを行い（成果と課題）、活動報告会をし合い、それを受けて次期の実践へとつなげる。

5. 共通理解しておきたいこと

- ・授業の板書は毎時間写真を撮り、データとして残しておく。

保存場所：共有フォルダ→31年度→02校内研修→板書（写真）→各学年

- ・職員室の掲示板に授業後、『主題名』『資料名』『日付』を付箋に書いて貼る。

付箋の色：ピンクー主として自分自身に関すること

黄色ー主として人との関わりに関すること

青ー主として集団や社会との関わりに関すること

緑ー主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

※参考－紀要の資料編 P14

- ・教室に足跡を残す・・・道徳科の4つの視点に分けながら

※参考－紀要の資料編 P12・13

- ・基本、道徳ノートを活用する。心のノートについては、担任の裁量で取り組む。